

2023年 4月入学

岡山大学
大学院自然科学研究科
地球惑星物質科学専攻

(5年一貫制博士課程)

学 生 募 集 要 項

Graduate School of Natural Science and Technology
(Five-year Doctor's Course)

OKAYAMA UNIVERSITY

地球惑星物質科学専攻（5年一貫制博士課程）の目的及び概要

目的

太陽系形成から現在に至る「地球・惑星の起源，物質進化，ダイナミクス」を実証的な物質科学として解き明かすことは地球惑星科学の根源的な課題であり，人類共通の知識として体系化することが研究者の目標です。本専攻においては，この課題を解明するための高い研究遂行能力と教育能力を併せ持ち，地球惑星物質科学を国際的に先導できる優秀な若手研究者の養成を目的としています。そのため本専攻では，従来の日本型大学院と異なる教育環境を設置し，研究者を志向する大学院生の育成に努めています。

概要

本専攻では，修士課程を廃し，入学当初より連続した5年間を基準修了年限とした博士課程教育を実施しています。このため，本専攻に入学した大学院生は，博士学位取得という明確な目標を持って，大学院教育を受けることとなります。優れた能力を有すると判断された場合は，博士学位取得必要最低年限である学部卒業後3年で博士学位取得が可能です。他研究分野出身の大学院生に対しても，5年間という十分な時間を活用することにより，地球物質科学に関する体系的な教育を受けることができます。

本専攻を修了し博士の学位を取得するには，所定の単位修得のほか，入学後2年半までに実施される「博士論文申請審査試験(Proposal Defense)」，および学位取得の際の「学位審査試験(Final Defense)」に合格しなければなりません。「Proposal Defense」に不合格であった大学院生に対しては，退学を勧告します。これらの審査試験においては，本専攻所属教員に加えて第一線の外国人研究者を交えた審査システムのもと実施され，国際的レベルに準じて行われます。

本専攻では，多彩な国籍からなる大学院生が，研究上の共通言語である英語を用いた講義・研究指導を受け，さらに国際性豊かな教員・研究者と議論を交わすことが可能な教育研究環境が提供されています。また，本専攻が設置されている「岡山大学惑星物質研究所」は，文部科学省の地球惑星物質科学研究における「共同利用・共同研究拠点」に認定されており，常時国内外の研究者との共同研究を実施しています。本専攻の大学院生はこのような環境で第一線の研究者の指導のもと博士課程研究を行い，実践的な研究コミュニケーション能力と高い専門的能力を育んでいきます。また英語に堪能な事務職員を配置することにより，留学生の教務事務などの諸手続きに関する負担を軽減します。

以上の実質的かつ国際的な教育研究環境を提供することにより，本専攻は国際的に活躍できる自立した研究者の育成に取り組み，学問の発展，人類知の構築に貢献したいと考えています。

大学院課程教育における方針(アドミッション・ポリシー，カリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシー)

自然科学研究科 HP の下記 URL を参考にしてください。

大学院課程教育における方針：https://www.gnst.okayama-u.ac.jp/ja/profile/gnst_housin/

I 募集人員

2023年 4月入学

専攻名	募集人員
地球惑星物質科学専攻	4人

II 入学者選抜試験 学生募集要項

1 出願資格

出願にあたっては2023年3月までに次のいずれかに該当する必要があります。

- (1) 学校教育法に規定される大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（注1）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（注2）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（注3）
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの（注4）
- (11) 大学に3年以上在学した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5）
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5、6）
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5）

(14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（注5）

(注1) 1の「出願資格」(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

①独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書を提出できる者。

②学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者。

(注2) 1の「出願資格」(3)に該当する「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」とは、外国において正規の学校教育における16年の課程を修了した者です。

なお、大学卒業までに16年を要する国で修学した者が、飛び級している場合は、16年目の課程を修了していれば、22歳未満であっても上記に該当します。

(注3) 1の「出願資格」(9)に該当する「学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの」とは、他の研究科へ飛び入学により入学した学生が本研究科へ入学を希望する場合で、「4出願手続(5)出願に必要な書類等」に記載の「⑫他研究科での在学期間証明書」を提出できる者です。

(注4) 1の「出願資格」(10)に該当する「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査（口頭試問）を行い、出願資格を認めた者です。

ただし、提出書類等により、個人の能力が確認できる場合は、学力検査を免除することがあります。

(注5) 1の「出願資格」(11)～(14)に該当する「大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」については、別に定めます。

(注6) 1の「出願資格」(12)に該当する「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」とは、大学卒業までに15年を要する国において、飛び級し、大学教育を修了した者も含まれます。

2 出願資格審査

前記1の「出願資格」(10)～(14)における入学志願者は、出願に先立ち、出願資格審査を行いますので、次の書類を、下記の受付期間内に岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当へ提出してください。

出願資格審査書類受付期間

2023年 4月入学者選抜試験（第1回）	2022年 6月30日（木）～ 2022年 7月 1日（金）
----------------------	-----------------------------------

出願資格審査提出書類

出願資格審査に必要な書類等	摘 要
① 出願資格認定申請・調書 (注1)	本研究科所定の様式【資格審査用(1)】を使用してください。
② 業績調書 (注1)	本研究科所定の様式【資格審査用(2)】を使用してください。 (専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。) なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。
③ 研究従事内容証明書 (注1)	本研究科所定の様式【資格審査用(3)】を使用してください。 (所属機関等が作成したもの)
④ 志望理由書 (注1)	本研究科所定の様式【資格審査用(4)】を使用してください。
⑤ 成績証明書 (最終学歴)	最終出身学校長、学部長又は研究科長が作成したものを提出してください。
⑥ 卒業証明書 又は 修了証明書 (最終学歴)	最終出身学校長、学部長又は研究科長が作成したものを提出してください。

(注1) ①～④の様式は、ホームページ上でダウンロードできます。

(注2) 提出書類は原本の提出が必要です(ただし、⑤、⑥は発行元により原本証明を受けたものでも可)。

(注3) 出願資格審査結果は、指導予定教員を通じて通知します。

募 集	入学資格審査結果通知予定日
2023年 4月入学者選抜試験（第1回）	2022年 7月20日（水）

3 障がい等のある方の出願について

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談期限	2023年 4月入学者選抜試験（第1回）	2022年 7月 1日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当 電話 086-251-8810	

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、(2)の「出願期間」の受付時間（8時30分から17時まで）内に出してください。

入学志願者は、出願前に指導予定教員と連絡を取り、研究内容等について必ず相談してください。

有機地球惑星科学講座での指導を希望する場合は、事前に、分析地球惑星化学講座の教員に連絡を取るようになしてください。

(2) 出願期間

2023年 4月入学者選抜試験（第1回）	2022年 8月 1日（月）～ 2022年 8月 2日（火）
----------------------	-----------------------------------

郵送する場合は、必ず「書留・速達」にて、封筒の表に「岡山大学大学院自然科学研究科地球惑星物質科学専攻入学願書在中」と朱書きし、上記の出願期間内に必着するように郵送してください。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当
TEL：086-251-8810

(4) 出願上の注意

- ①出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ②出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

- ⑤改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、入学願書の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
<p>① 入学願書, 履 歴 書, 受 験 票, 写 真</p>	<p>本研究科所定の用紙に、入学志願者本人が必要事項を記入してください。</p> <p>写真は、縦4.0cm×横3.0cm、出願前3か月以内に上半身、無帽、正面向きで撮影したものを「入学願書」「受験票」の所定欄にのりで貼り付けてください(計2枚)。貼る前に、写真の裏面に氏名を記入してください。</p>
<p>② 入学検定料</p>	<p><u>30,000円(手数料が別に必要です。)</u></p> <p>出願期間最終日の17:00(日本時間)までに、次の「入学検定料支払の流れ」を確認の上、「入学検定支払サイト」よりお支払いください。海外からの支払方法は、必ず「クレジットカードでの支払い」を選択してください。その他の支払方法は、海外からの利用が出来ません。</p> <p>入学検定料の支払後に、「入学検定料支払証明書」を印刷し、所定用紙の所定欄へ貼付してください。</p> <p>「入学検定料支払の流れ」 https://www.gnst.okayama-u.ac.jp/admission/gnst_dtest_youkoutop/</p> <p>「入学検定料支払サイト」 日本語版：https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn 英語版：https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng</p> <p>以上の方法による支払ができない場合は、担当係(P.10)へ問い合わせてください。</p> <p style="text-align: right;">【次頁に続く】</p>

<p>② 入学検定料 (続き)</p>	<p>入学検定料の返還について</p> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合</p> <p>ウ 国費外国人留学生の入学志願者は原則として入学検定料の支払は不要ですが、2023年3月31日限りで奨学金支給期間が終了する場合は、入学検定料の支払が必要です。なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。</p> <p>エ 次の「入学検定料の免除について」に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合</p> <p>入学検定料の免除について</p> <p>本学では、2021年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>詳細については、本学のホームページ (https://www.okayama-u.ac.jp) から「入試」→「入学検定料の免除」をご確認ください。</p>
<p>③ 学部の 成績証明書(注)</p>	<p>出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。</p>
<p>④ 大学院の 成績証明書(注)</p>	<p>大学院に在籍した経験がある者のみ出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑤ 卒業証明書 又は 卒業見込証明書(注)</p>	<p>出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑥ 修了証明書 又は 修了見込証明書(注)</p>	<p>大学院に在籍した経験がある者のみ出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑦ 学位論文等</p>	<p>大学院に在籍した経験がある者のみ、次のいずれかを提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文を課す課程を修了した修士学位取得者は、「学位論文要旨」 (A4版で様式は指定しません。2,000字程度) ・ 修士課程修了見込みの者、修士論文を課さない課程を修了した修士学位取得者は、「研究経過報告書」 (A4版で様式は指定しません。2,000字程度) <p>なお、研究発表等の資料があれば添付してください。</p>

⑧ 研究計画書	A4版で様式は指定しません。
⑨ 業績調査	A4版で様式は指定しません。
⑩ 履歴書 及び 研究従事内容証明書	「1 出願資格(3), (4)」に該当する者で出願する者のみ提出してください。 本研究科所定の用紙に必要事項を記載して提出してください。
⑪ 学士の 学位授与(申請) 証明書	「1 出願資格(2)」で出願する者のみ提出してください。 学位取得見込者は、在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書及び学士の学位の授与を申請する予定である旨在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成する証明書(様式任意)
⑫ 他研究科での 在学期間証明書	「1. 出願資格(9)」で出願する者のみ提出してください。
⑬ 連絡受信先用紙	必要事項を記入してください。

(注1) 出願資格審査で、出願資格が有と認定された入学志願者は、③～⑥の証明書の提出は不要です。

本学の卒業生、修了者及び卒業見込み、修了見込みの入学志願者は、③～⑥の証明書の提出は不要です。

(注2) 提出書類①, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑩, ⑪, ⑫は原本の提出が必要です(ただし、③～⑥は発行元により原本証明を受けたものでも可)。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。

ただし、入学者については、入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5 受験票の交付

受験票は、次の頃に指導予定教員に交付します。指導予定教員から受領してください。

2023年 4月入学者選抜試験(第1回)	2022年 8月 9日(火)頃
----------------------	-----------------

6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、口頭試問及び書類審査の結果を総合して行います。

なお、成績証明書等に基づく書類審査により、口頭試問を免除する場合があります。

入学者選抜試験	期日	試験区分	時間	試問場所
2023年 4月 入学者選抜試験（第1回）	2022年 8月22日（月）	口頭試問	午前9時30分～	専攻長から 後日連絡 します。

（注）1. 前記の口頭試問の日時は、志願者に連絡の上、変更することがあります。

2. 口頭試問の日時及び試問場所について

8月17日（水）までに連絡のない場合は、担当係（P.10）へ問い合わせてください。

7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

入学者選抜試験	日 時	掲示場所
2023年 4月 入学者選抜試験（第1回）	2022年 9月 7日(水) 午前10時	岡山大学 自然系研究科等 学務課大学院担当 (工学部1号館1階) 事務室前掲示板

① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。

② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

(<https://www.gnst.okayama-u.ac.jp/ja/admission/>)

③ 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続方法

合格者は、入学手続を完了することにより、入学が許可されることとなります。

詳細は、後日合格者に通知します。

(2) 入学手続期間

入学手続期間については、次のとおり予定していますが、詳細は、後日合格者に通知します。

2023年 4月入学者	2023年3月13日（月）及び 2023年3月14日（火）
-------------	----------------------------------

9 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円〔予定額〕

授業料（半期分）267,900円（年額）535,800円〔予定額〕

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

その他の費用として、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となります。

(2) 奨学金及びリサーチアシスタントシップ

優秀かつ経済的支援を必要としている大学院生は、大学および惑星物質研究所の奨学金制度やリサーチアシスタントシップ制度等に応募することができます。

(3) 岡山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「岡山大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

「外国為替及び外国貿易法」等により規制されている事項に該当する場合は、入学を許可しない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があります。

参考（経済産業省ホームページ）

URL ; <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

(4) 出願に際して不明の点があれば、下記担当係へ問い合わせてください。

【担当係】 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

TEL : 086-251-8810

E-mail : agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

専攻案内(2022年4月1日現在)

1. 分析地球惑星化学講座

教育研究分野	内容	授業科目	担当教員
分析地球惑星化学	天然試料・実験生成物の元素存在度・同位体比測定・年代測定・構造解析をもとに、地球・惑星の起源・進化を解明する。	基礎分析地球惑星化学	牧嶋 昭夫 教授
		ケミカルジオダイナミクス	小林 桂 教授
		地球惑星物質年代学	小林 桂 教授
		地球惑星起源物質化学	国広 卓也 准教授
		同位体地球宇宙化学	田中 亮吏 教授
		地球惑星地質学	北川 宙 助教
		地球惑星物質進化解析学	国広 卓也 准教授
		分析地球惑星化学ゼミナール	講座の所属教員
		分析地球惑星化学特別研究	講座の所属教員
		分析地球惑星化学演習 I	講座の所属教員
		分析地球惑星化学演習 II	講座の所属教員
		分析地球惑星化学演習 III	講座の所属教員

2. 実験地球惑星物理学講座

教育研究分野	内容	授業科目	担当教員
実験地球惑星物理学	超高温高温実験による地球内部物質のシミュレートと物性測定、また、分光学的手法によるマグマの構造・物性解析により、地球・惑星の進化とダイナミクスを解明する。	超高温基礎実験科学	芳野 極 教授
		レオロジー	山崎 大輔 准教授
		地球惑星物質結晶化学	神崎 正美 教授
		地球惑星物質分光法	薛 献宇 教授
		実験マグマ科学	山下 茂 准教授
		先端地球惑星科学	森口 拓弥 准教授
		惑星探査：隕石から太陽系まで	イザワ マシュー 准教授
		実験地球惑星物理学ゼミナール	講座の所属教員
		実験地球惑星物理学特別研究	講座の所属教員
		実験地球惑星物理学演習 I	講座の所属教員
		実験地球惑星物理学演習 II	講座の所属教員
		実験地球惑星物理学演習 III	講座の所属教員

3. 連携講座(有機地球惑星科学講座)

教育研究分野	内容	授業科目	担当教員
有機地球惑星科学	CHONS系化学種の起源と物質進化の解析から、初期太陽系の物質進化、さらには生命の起源を解明する。	地球惑星有機物化学	POTISZIL Christian 助教
		地球惑星有機物解析学	POTISZIL Christian 助教 田中 亮吏 教授
		メルト中の揮発性物質	神崎 正美 教授
		アストロバイオロジー	田中 亮吏 教授 小林 桂 教授 国広 卓也 准教授 北川 宙 助教 POTISZIL Christian 助教
		有機地球惑星科学ゼミナール	講座の所属教員
		有機地球惑星科学特別研究	講座の所属教員
		有機地球惑星科学演習 I	講座の所属教員
		有機地球惑星科学演習 II	講座の所属教員
		有機地球惑星科学演習 III	講座の所属教員